

○祝詞

大日本護國軍門司第三軍團

今や國際的軍大時機に直向して舉國緊張を要するの秋に際し大日本生産黨九州聯合會開かるるを聞き我等は同志として衷心慶賀の意を表す、今後益々御奮闘を祈り併て皇道維新斷行に向つて我等と互に提携せられん事を望む

神州護國黨 代表 榎 本 佐 市

僻山あれども巍然と聳ゆる富嶽の如く萬國に誇る神州雄國已に三十年の運維たる國體無限光照の歴代陛下の大慈悲聖恩に森々維々は申すもかな、三界の八蒼佛大それ皆浴せざるなし、國民挙げて君の馬前に心身を鴻毛の輕きと捧げ山行かは草むす屍云々の長歌となつて現る、けにや君民一致以て現實の地上に打建てられたし天國淨上な

らずや、然るに方今幾多の難事萬般山積するの世相は上下を擧げての一大變患事ならずや、其の起因するを吾人等検討するに其因多々にありと雖も就中自由經濟、資本主義の跳梁跋扈と唯物思想を根本とする思想を持つ社會風、是より派生する政治、宗教、文學、外交其の他一切の社會施設が主に反日本的であり、非民族的であることは論を有せざる所なり、是等物心兩者の誤謬偏見を正し眞に日本的人間の社會の建設こそ全人類の要望である今時大和島根に生を受く神の子我等の念願なり。

然るに妖雲天に滿ち大星の慈光を蔽ひ奉りて萬民塗炭の苦を蒙む、天災地變重起し來りて政治の大官に反省を促すと共に國民大衆に奮起激進の暗示を授く是を人唱へて天命維新と言ひ天軍發動、神兵進撃と叫ぶ、斯る時全日